

<CCM 書記・山谷昌子少佐の 2021 年 6 月 20 日(日)のメッセージ>

6 月 27 日(日)は CCM サンデーとなっています。この日、みなさんが CCM の働きを覚えてくださりお祈りしていただければ幸いです。CCM、CCM といつもわたしたちは言っていますが、CCM とは何でしょうか。CCM は「コミュニティー・ケア・ミニストリーズ」の略であります。直訳すると「地域社会を気づかう伝道?」とでもいうのでしょうか。

CCM の働きを一言で言うならば「Others」であります。「Others」つまりは「他者」への働き、地域に向かって出ていく、そういう働きであります。

そしてそのテーマとなるみ言葉はマタイによる福音書 25:40「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」であります。

もともこの働きは、1892 年にカナダのトロントで、ハーバート・ブース夫人によって正式に始められました。最初に発行された「軍令及び軍律」には、「これは、救世軍の霊的そして社会的奉仕を提供したいとの願いによって形成されています。もし病人、障がい者、お年寄り、外出できない人、孤独の人、そして失望している人がいるなら、行って彼らに安らぎと喜びを、また時には、できうる限りの物質的援助をも提供します。それは、神の愛の実践を通して、愛と希望と喜びを人々に届ける働きです」と謳われています。

この働きは、地域社会へのかかわりを深め、精神的ケア、また実践的な奉仕を通して、個人的な必要に応じていくことをその働きの中心としています。

わたしたちが地域社会に目を向けるとき、たくさんの必要を見ることができると思います。その必要は、その地域によって違うと思いますが。

わたしの遣わされている小隊では CCM の働きとして街頭生活者への食べ物の提供をしています。現在コロナ禍でありますので、パンとソーセージ、お茶と飴を袋に詰めたものを、感染予防に配慮しながら、利用者約 20 人から 25 人の方に、来られた順にお渡ししています。

このように CCM の働きとして街頭生活者への支援を行っている小隊はほかにもあります。また、コロナになってから CCM の働きを新たに始めた小隊があることを覚え感謝しています。その働きの中には生産者支援や子ども給食、マスクなどの配布・販売、また学生支援など、みなさんがそれぞれ工夫しながら地域に、人々に目を向けてくださって、その必要を見出し、そしてキリストの愛を実践してくださっていることを覚え感謝いたします。そして、それらの働きを通して、地域社会へのかかわりを深め、精神的ケア、実践的な奉仕を通して、個人的な必要に応え、愛と希望と喜びを人々に届け、キリストの香りを放ってくださっていることを覚えます。まさに CCM「コミュニティー・ケア・ミニストリーズ」であります。

このように小隊で行う CCM の働きもありますが、CCM の働きは個人でもすることもできます。施設での綿布切りの奉仕、高齢者施設へのお話ボランティア、これは入所者が人と話すことが少なくなったと、ボランティアの方がベッドの傍らで話し相手になるという働

きであります。入院している人のお見舞いに行く、地域の読み聞かせボランティア、また近所の方のお使いの手伝い、代わりに手紙を書いてあげる、また一人暮らしの方に電話をする、手紙を書く、そのような普段普通にしていることも CCM の働きであります。決して、大きな目立った働きだけがそうなのではありません。孤独を覚えている友人を救世軍のコンサートに招いて、一緒に過ごす時間を作ってあげる、それも CCM の働きの一つであります。わたしたちが人を愛する心をもって、自然にする声掛けすることも CCM の一つであります。わたしたちは神様の愛を、希望を、実践を通して人々に届けていき、希望を失っている方々がキリストの愛を受け止めていただければ幸いです。

個人で、いままで自然にしてきたことが CCM だと思ってしまうと意識してしまい、自然さを失ってしまう方もおられるかもしれません。その方々は今までのままでいいのです。でも CCM を意識したいという方は、ぜひ会員になって CCM の働きに加わってください。

CCM の会員には人々に対する愛と配慮の心をもって奉仕したいと願う、小隊士官が推薦するすべての救世軍人、同友者、軍友が会員になることができます。そして CCM の会員はクリスチャンである場合、自分の信仰を他の人々と分かち合い、実際的で、愛に溢れた心配りと世話をしよう努める、ということが求められています。

つまりは救世軍の働きを理解し、その働きに加わりたいと願う方は CCM の会員になることができるのであります。

神様はわたしたち人間を造られました。神様がわたしたち人間を造られたのは、神様と人間が親しい交わりの中であって、神様の栄光を現わすものとなる、神様の尊い御業が、わたしたち人間を通して成って行く、そのために神様は人間を造られたのであります。

マタイによる福音書 25:40「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」であります。このイエス様の招きの言葉に答えて、みなさまもぜひ、自分にできる何かをはじめていただきたいと思います。

祈り

神様、今日は CCM の働きを覚えることができ感謝いたします。わたしたちはこれまで普通に自然に他者に対して愛を実践してきましたが、これからもイエス様の招きに応えて愛を実践していくことができるようにお導きください。感謝をしてイエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン